

草地基盤整備による安定した農業経営と

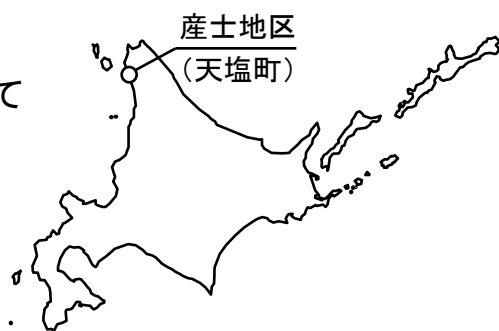
魅力ある農村の活性化を目指して

うぶし

産士地区

国営総合農地防災事業

～北海道特有の泥炭土に起因する農地等の機能低下を回復～



地区概要

- 関係市町村 : 天塩町
- 受益面積 : 2,289 ha
- 主要工事 : 排水路12条 L=15.7 km 暗渠排水 2,289 ha
整地 430 ha(不陸整正 345 ha, 障害物除去 101 ha, 置土 19 ha)

地域農業の現状と課題

本地区は、北海道の北部、天塩郡天塩町に位置し、一級河川天塩川沿いの低平地に拓けた農業地帯である。

また、泥炭土が広く分布している地区であり、泥炭土に起因した地盤沈下によって、農業用排水路及び農用地の機能低下が生じている。

このため、農用地の湛水被害、過湿被害、不陸障害及び埋木障害による牧草の収穫量及び機械作業効率の低下など、農業経営に大きな支障が生じている。

事業目的

泥炭土に起因した地盤沈下により、機能低下している農業用排水路、農用地の機能回復を行うことで、農地の湛水被害等を解消し、農業生産の維持、農業経営の安定化及び国土保全に資する。



埋木による作業効率の低下



産士地区
(2,289 ha)



排水路からの溢水による湛水被害



不陸障害による過湿状況

事業内容

○農業用排水路○

a. 機能低下した通水能力を回復させ、農用地の湛水被害や過湿被害を解消する。

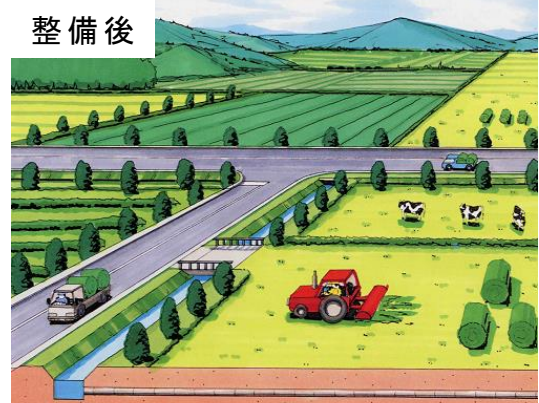
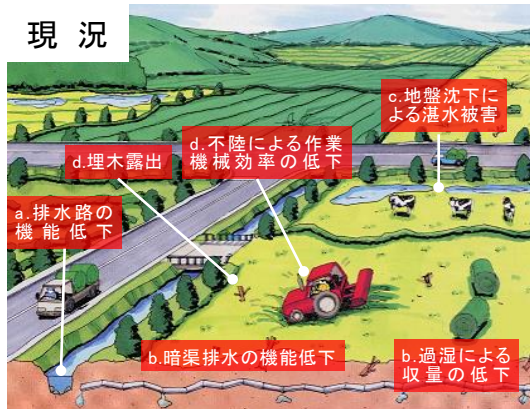
○農用地○

b. 機能低下した農用地の排水機能を回復させ、過湿被害を解消する。(暗渠排水)

c. 地盤沈下した農用地の地盤を高くし、湛水被害を解消する。(置土)

d. 地盤沈下により生じた農地面の凹凸の整正、埋木を除去し、機械作業効率の向上を図る。

(不陸整正、障害物除去)



整備状況

排水路



整備後(平成28年度)



農用地



整備後(平成28年度)



事業の効果

生産基盤の機能回復

飼料作物(牧草)の生産性回復

高品質な生乳の安定生産

機械作業効率の向上

営農経費の節減

農業経営の安定化